

News Release

ミツウロコグリーンエネルギーと共同開発の電力制御統合セントラル 需給調整市場応札機能の開発完了

一取引に使用する系統用蓄電池設備の EPC 業務も受託、国内初完工一

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営エナジーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：横田裕史、以下、日本工営エナジーソリューションズ）は、ミツウロコグリーンエネルギー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：坂西 学 以下、ミツウロコグリーンエネルギー）と共同開発した電力制御統合セントラル（以下、*IPoCC*: Integrated Power Control Central）を用いて、2024年3月より需給調整市場への応札を開始しましたので、お知らせします。

カーボンニュートラルの達成に向けて再生エネルギーの導入が期待されていますが、電力の安定供給のための対応策として、調整力の重要性もより一層高まっています。需給調整市場は、安定供給を実現する上で欠かせない調整力を、エリアを越えて低廉かつ安定的に確保することを目的として開設されたものです。このような市場の動きに対応して、効率的・強靱な次世代の電力統合システムの運用も求められています。

日本工営エナジーソリューションズとミツウロコグリーンエネルギーは、2021年12月に業務提携を行い、次世代のスタンダードとなるような電力制御システムを目指して *IPoCC* の開発に着手してまいりました。

この度開発した *IPoCC* は、アグリゲーションビジネスの知見や蓄電池制御の技術を有する日本工営エナジーソリューションズと、電力の需給管理に関する知見と分散型エネルギーリソース（DER）を有するミツウロコグリーンエネルギーにて、共同開発したものです。本システムを用いた取引は、ミツウロコグリーンエネルギーが運営するエネルギーリソースに加え、高圧系統に接続する系統用蓄電池設備2箇所で行う予定です。取引に使用する愛知県田原市および宮城県仙台市の系統用蓄電池設備は、国内で初めて完工した系統用蓄電池案件であり、日本工営エナジーソリューションズが EPC（調達・設計・建設）業務を手掛けています。日本工営エナジーソリューションズが電気設備の設計、EMS の開発、土木・電気・据付工事の全ての施工管理を受託し、基本設計および一般送配電事業者との系統連系協議等の初期段階から技術サポートを提供しました。日本工営エナジーソリューションズは、2017年より、再エネ導入量が多い欧州でアグリゲーションビジネスおよび系統用蓄電池の知見・ノウハウを蓄積・向上してきました。この知見を国内事業へ本格的に活かし、国内の系統用蓄電池施設の EPC 業務、*IPoCC* の更なる開発に繋げています。

日本工営エナジーソリューションズは、今後も系統用蓄電池を中心とした事業開発、システム開発、EPC、アグリゲーションによるワンストップサービスの提供により、カーボンニュートラルの達成に向け貢献してまいります。

■ 蓄電施設



ミツウロコ愛知県田原蓄電所

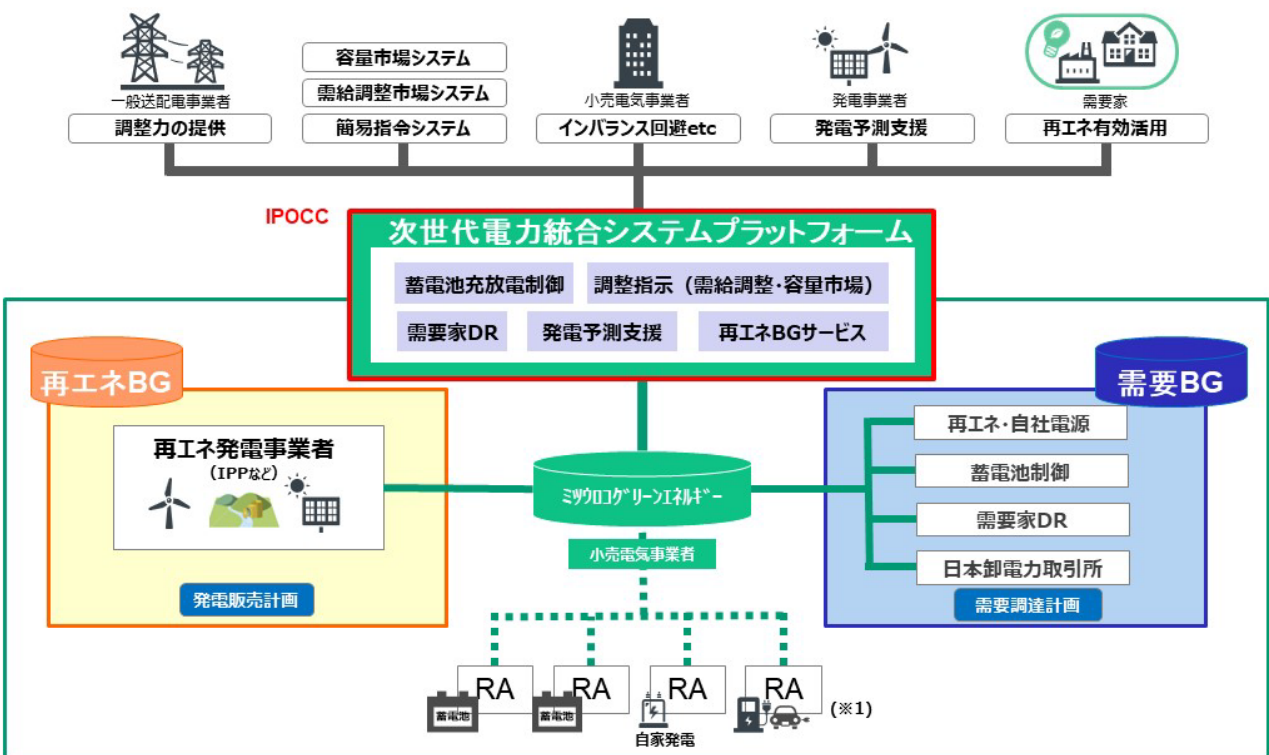


ミツウロコ宮城県仙台蓄電所

■蓄電施設概要

| | | |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 名称 | ミツウロコ愛知県田原蓄電所 | ミツウロコ宮城県仙台蓄電所 |
| 出力/容量 | 1.5MW/6.00MWh | 1.5MW/6.14MWh |
| 事業主体者（運用含む） | ミツウロコグリーンエネルギー株式会社 | ミツウロコグリーンエネルギー株式会社 |
| 所在地 | 愛知県田原市 | 宮城県仙台市 |
| 運用開始日 | 2023年9月 | 2023年12月 |

■IPoCC全体イメージ（赤枠内がIPoCC）



※1 RA（リソースアグリゲーター）：需要家とサービス契約を直接締結してリソース制御を行う事業者

※ご参考：2021年12月6日プレスリリース

日本工営 ミツウロコグリーンエネルギーと業務提携 ～分散型エネルギーリソースを活用した次世代電力統合システムを開発～

<https://pdf.irpocket.com/C9161/KSWQ/jVum/L9nM.pdf>

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>